



## 2020 東京オリンピック日本代表選手選考方法に関して

### 1 枠目

2019 世界選手権 東京大会（11/28-12/1）にて個人決勝に進出した日本人最上位者を 2020 東京オリンピック出場内定選手とする

### 2 枠目

2019-2020W 杯シリーズにて、W 杯ランキング日本人最上位で出場権を獲得した選手を 2020 東京オリンピック出場内定選手とする。

※2019.2～2020.4 間のワールドカップシリーズにて 6 試合中 4 試合のポイント合計（ワールドランキング）の高い選手がいる国の上位 4 カ国に入れば 2 枠目が与えられる（1 枠目の世界選手権による出場権獲得者を除く）

※2019 世界選手権で出場権を獲得できていない国は、W 杯ランキング上位 14 カ国に入れば出場権を獲得できる（世界選手権で出場権を獲得した国を除く）

### 2019 年世界選手権 東京大会（11/28-12/1）派遣代表選手選考基準

【選考方法】世界選手権最終選考会にて日本代表を決定

### 2019-2020W 杯シリーズ派遣代表選手選考基準

**2019 年 第 1 戦 バクー大会（2/16-2/17）派遣人数 4 名**

#### 【男子】

- ① 2018 世界選手権個人メダル獲得者
  - ② 2018 世界選手権個人決勝進出者
  - ③ 2018 国際ジャパンオープン終了時の強化指定ランキング上位者から選出
- ※但し①、②がない場合は③から上位者 4 名を選出する

#### 【女子】

- ① 2018 世界選手権個人決勝進出者（個人決勝進出者がいない場合は最上位者 1 名）

- ② 2018 世界選手権終了時の強化指定ランキング上位者

**2019 年 第 2 戦 ミンスク大会** (4/20-4/21) 派遣人数 4 名

**【男子】**

- ① 2018 世界選手権個人メダル獲得者
- ② 2018 世界選手権個人決勝進出者
- ③ 第 1 戦 (バクー大会) 終了時の W 杯ランキング日本人最上位者 (但し、15 ポイント以上獲得していること)
- ④ 2019 第 1 戦 (バクー大会) 終了時の強化指定ランキング上位者から選出

**【女子】**

- ① 2018 世界選手権個人決勝進出者 (個人決勝進出者がいない場合は最上位者 1 名)
- ② 2018 世界選手権終了時の強化指定ランキング上位者

**2019 年 第 3 戦 ハバロフスク大会** (9/21-9/22) 及び**第 4 戦バリャドリッド大会** (10/5-10/6) 派遣人数 4 名

**【男子】**

- ① 2018 世界選手権個人メダル獲得者
- ② 第 2 戦 (ミンスク大会) 終了時の W 杯ランキング日本人最上位者 (但し、30 ポイント以上獲得していること)
- ③ 第 2 戦 (ミンスク大会) 個人決勝進出者
- ④ 第 1 戦 (バクー大会) 個人決勝進出者
- ⑤ 2019 世界選手権大会国内最終選考会終了時の強化指定ランキング上位者から選出

**【女子】**

- ① 第 2 戦 (ミンスク大会) 終了時の W 杯ランキング日本人上位 3 名
  - ② 2019 世界選手権大会国内最終選考会終了時の強化指定ランキング上位者
- ※但し、W 杯ランキングポイント獲得者が 3 名に至らない場合は強化指定ランキング上位者を含め、計 4 名とする。
- ※また、W 杯ランキングが同順位の場合は第 1 戦 (バクー大会)、第 2 戦 (ミン

スク大会)の最高順位の高い選手を派遣する。それでも同点の場合は、強化指定選手ランクの上位者を派遣する。

2020年 第5戦 バクー大会 (2/15-2/16) 及び第6戦 ブレシア大会 (4/24-4/25) 派遣人数 各4名

#### 【男子】

① 第4戦 (バリュドリック大会) 終了時の W 杯ランキング上位者 4名

#### 【女子】

① 第4戦 (バリュドリック大会) 終了時の W 杯ランキング上位者 4名

※但し、W 杯ランキングポイント獲得者が4名に至らない場合は強化指定ランキング上位者を含め、計4名とする。

<2019世界選手権大会終了時の強化指定ランキングを考慮し、決定する>

#### 【男女共通】

※世界選手権大会で1枠獲得した場合

1枠獲得した選手が W 杯ランキング上位者の場合は、その選手を外し、残りの W 杯ランキング上位者4名を派遣代表選手とする。

但し、獲得した選手のオリンピックへの調整があるため、状況に応じ第5戦・第6戦に参戦させるものとする。

※世界選手権大会で獲得できなかった場合

第4戦 (バリュドリック大会) 終了時の W 杯ランキング上位者4名を派遣代表選手とする。

上記選考方法で選んだ代表選手がケガ等の理由で十分に競技ができない状態の場合は、強化本部で審議し、次点の選手を派遣する。(補欠選手を常に準備する)

W 杯ランキングが同点の場合は、以下の項目の上位者

①第1戦～第4戦でより多く個人決勝に進出している選手

②それでも同点の場合は、各大会での順位を合計 (計4戦出場の場合) し、最も少ない数字の選手 (例: 3位+5位+6位+5位=19)